

住みたい、行きたい、帰りたいまち倉吉



アイズ

Vol. 2 (2014.4)

住所 倉吉市天神町233-1

☎・FAX 0858-26-0230

E-mail tyefujii@ncn-k.net

http://mei25kami6.sakura.ne.jp/www/

倉吉市議会議員 藤井隆弘

藤井たかひろ

〔アイズ〕目線,合図・相図,愛ず

発行:藤井たかひろ後援会事務所

討議資料

アイズ2号発行

議員になって5ヶ月がたちました。「くらしよし倉吉」が元気に「住みたい 行きたい 帰りたい」まちになるためにという気持ちで活動をしてきました。その間、気に掛かることも出てきました。例えば、市内や中部各地で行われている〇〇祭り、それぞれで行われるのもいいけど、まとまってやるともっと賑やかにできるのに…。大学のセンター試験、中部地区の受験生はどうして鳥取や米子まで行かないとダメなのか。来年、鳥取看護大学もできるが倉吉で受験できるようになるといいのに。点数も上がるんじゃないかな。等々考えたりしていました。

私にとっての2度目の議会で来年度予算を決める平成26年3月市議会定例会も終わりました。議員としての活動や議会・行政のことを知っていただくことが重要な役割だと考えています。ホームページや「アイズ」等を通して、身近なはずの市議会を多くの市民の皆さんに知っていただきたい。皆さんと共に、よりよいまちづくりを進めたいと考えています。「アイズ1号」は、発行までに思いの外時間がかかり、お届けしたくてもできていない面もあります。しかし、「アイズ」をお届けしながら、いろいろなお話を伺うこともできました。その中には、議会で取り上げたものもあります。

「アイズ」は、定期的に議会報告や活動状況・考えなどを載せてまいります。「アイズ」が「くらしよし倉吉を元気に」、「住みたい、行きたい、帰りたいまち倉吉」の一助となれば幸いです。

人生おもしろきかな

「退職後 地域に根ざして」というテーマで鳥取県退職校長会の会報「積雲」の原稿依頼がありました。標題を「人生おもしろきかな」としました。一度限りの人生、悔いの少ない生き方をしたい。「おかげさま」の気持ちを忘れることなく……。

人生おもしろきかな

ライフプラン、人生設計。これまでの人生を振り返り、今後の人生展望をイメージした。民間企業勤務、愛知県でスタートした教師生活、県中部3小学校での教師生活、5年半の教育行政勤務、8年半の学校長生活。今後の人生で大切にしたいこと、やりたいこと、できること。キーワードは、「健康、地域の中で生きる、やりがい」であった。



<2012.2 宮城県松島町>

退職後始めた登校ボランティア。子どもたちが地域の宝として沢山の方に見守られ、大切にされていることを改めて感じる。朝のさわやかな空気と地域の人とのつながり、健康のためにも続けていきたい。子育て・教育をはじめ諸事のもととなる政治、特に身近で生活に密着した基礎自治体政治。退職後、倉吉市議会議員選挙に向け政策をまとめて準備。家族の理解、同級生や地域の方々のご支援をいただき当選。昨年10月より市議会議員として勤めている。教育福祉常任委員会の副委員長として子育て・教育に関わらせていただいている。少子高齢化の進行、先行き不透明な政治経済情勢。財政の健全化と選択と集中による市政運営。保育所や学校の再編、雇用の確保、行政・議会改革等課題山積である。「やりがい」をもち、市民の皆様のためにしっかりと働く所存である。

藤井たかひろは、「くらしよし倉吉」を元気に、「住みたい、行きたい、帰りたいまち倉吉」としていくために5つの姿勢を大切にします。そのために5つの作戦を中心とした政策を進めていきます。活動内容をお知らせすること、身近である市政に関心を持っていただけるよう「アイズ」やホームページ <http://mei25kami6.sakura.ne.jp/www/> (くらしよし倉吉 藤井たかひろ後援会等での検索もできます) を開設して情報を公開しています。

藤井たかひろの姿勢・作戦

- 現場主義 ①倉吉財政ヘルシー作戦
- 情報公開 ②倉吉未来キラキラ作戦
- 柔軟な思考 ③倉吉魅力アップ作戦
- 選択と集中 ④倉吉スマート作戦
- ブレない政治 ⑤倉吉リフォーム作戦

藤井たかひろ後援会では、共に知恵と汗を分かち合い、よりよい倉吉としていくために皆様のご理解と後援会入会をお願い申し上げます。入会ご希望の方は、電話・FAX、メール等でお知らせ下さい。また、ホームページでは「藤井たかひろ後援会」に関する情報も載せていますのでご覧下さい。

やるき! 本気! 勇気!



開かれた市政とリーダーシップについて
(第11次総合計画の進捗状況、まちづくりと方向性)

『藤井』 意識調査の公表と分析・考察、市政への活用について問う。
「倉吉駅周辺のまちづくり」倉吉の強み・セールスポイントは何か。
「学校・保育所再編等とまちづくり」困難はあっても、学校・保育所再編等は必要だと考えているか。

『市長』 意識調査の結果について12月末にホームページに掲載した。
分析については、不十分だと思っている。施策評価は、まもなく公表できるのではないかと考えている。予算編成などとリンク・活用していくのか考えていきたい。
倉吉の強み・セールスポイントは、①歴史があって文化度が高い。②非常に人間関係が深い。
③NPOなどの各種の団体が活発に活動しておられる地域だと思っている。
教育、学校再編については、子どもたちの健やかな成長ということを第一義に考えていかなければならない。人口が減少してきているという大きな枠組みの中で、学校・保育所も何もしないですむということにはならない。教育委員会、市民の皆さんとも合意形成をはかりながら、困難な問題ではあるが、少しでも前進していくようにしていきたい。

『藤井』 総合計画の評価等の公表について、市民が結果から分かることが開かれた市政のポイントだと思う。また、各課の仕事の改善にどう生かしているか大切。スピード感という点でも課題がある。(資料配布)

問25「倉吉市は子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると思いますか 39.1%~52.9%」など前年に比べ結果がよくなっている。住みよい街ランキング(高齢者が住みよい街1位、出産・子育てしやすい街10位(週刊東洋経済社))などの影響もあるかもしれない。問26「あなたは子育てに不安を感じていますか」は不安を感じる人が増えている。具体的な施策をとっていくことが必要。問50「あなたは、倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思いますか」では「わからない」が50%近くあることが気になる。市役所全体としての全庁的な取組があったらお伺いする。

倉吉駅周辺のまちづくりについて、一つには、地理的に鳥取県の中央にあること、コンパクトにまとまっている生活に密着したまちであることもアピールポイントである。福庭八屋線、駅北通り線等、倉吉駅周辺の道路についての計画と進捗状況についてお伺いする。

学校及び保育所の再編について、市民の将来のまちづくりに対する不安・不満は、例えば、①学校・保育所がなくなることについて ②再編後すぐに適正人数を下回る学校もある ③財政的な面での考え方も示してほしい ④再編対象となっていない校区住民の関心が薄い ⑤保育所~中学校まで併せた論議が必要である。総じて、保育所・小学校の再編についての説明と論議が十分ではない等がある。市長には、市の代表として、今後の展望や思いをいろいろな会の中で語って欲しい。

『市長』 意識調査の結果について議員の分析されたものを見たが、確かに市として十分に分析できていないと思う。時間も確かにかかっている。事務改善に生かしていくことも必要であろうと思う。他市の状況なども十分勉強して取組に生かしていきたい。

道路の進捗状況について、駅北通り線は県の事業として整備をしていただくよう進めている。県道上井北条線、踏切の所に行く道路は、駅北通り線が県道になれば市の方で管理していくことになると思う。八屋福庭線は現在施工中で、平成28年度完了予定である。

学校の再編について、地域の皆さんに説明していく努力は継続的にしていきたい。最終的に設置者は市長なので、よそ事として考える気はない。教育委員会とも相談しながら、出るべき時にはきちっと出て、合意形成に努力したい。

『藤井』 総合計画の評価と改善について、市長がリーダーシップを発揮してスピード感を持って取り組んでいただきたい。学校・保育所の再編問題は、市長自らの思いや方向性を示していただきたい。

倉吉駅周辺まちづくりについて、都市間・地域間競争の時代、商業などの落ち込みが目立つ。中部から東部や西部に買い物にでかける人も多い。倉吉は東部も西部も呼び込める場所にある。全県を対象にした会合が倉吉駅周辺の施設で行われることも多い。魅力あるまちをつくらなければ人は集まる。駅南の旭地区(商業地域)では空き店舗や空き地が目立つ。倉吉の特徴に「生活密着型小売業事業所数」の多さがある。歩いて・自転車で買い物のできる町並みを地元の方のご意見を伺いながら、もう一度作り上げていくことが大切である。

地図を見ると、倉吉駅周辺は駅を中心に半径1kmほどの間に学校(保・幼~大学)などの文教ゾーン、病院・福祉施設などの福祉ゾーン、生活密着型や民間活力による商業ゾーンが広がる県中部の玄関口にふさわしいコンパクトで便利な地域である。駅北前の一等地、12街区(市有地、JAの土地5000平米弱)は、プロポーザル方式で再募集しているが状況は? 東部・西部から車でもJRでも1時間かからない駅前のこの地を倉吉の魅力ポイントとして、倉吉市民が将来にわたって誇りに思う拠点にしたい。文教ゾーンの象徴として例えば県立美術館の誘致に名乗りを上げるのも一つの手だと思う。秋田県立美術館・静岡市美術館・横浜市美術館などの駅前、駅近美術館等が



地の利を生かし、コンパクトシティ・バリアフリー化の象徴として建てられている。静岡市美術館のホームページには「静岡駅から雨に濡れずに行ける『便利な』都市型美術館」とある。倉吉の市長として県中部の新中核都市の首長として「県立美術館を倉吉に、準備はあります。」と県に提言してはどうか。

『市長』 地域間競争の中で、確かに県の中央にあるというメリットを生かせば、役割を果たせると思う。上井・北条線の沿線などで空き店舗が増えている。コンパクトシティというのは、財政が縮小していく中での経営方法として努力が必要である。新年度、中心市街地活性化の計画づくりをやりたいと思っている。明倫・成徳地区だけでなく、上井地区周辺も考えてみたい。国の方との調整が必要になるかもしれないので、その辺を含めながら中心市街地活性化の計画を考えたい。12街区は改めて公募している状況で、まずは状況を見ていきたい。県立美術館への活用について、県の動き自体がはっきりしない面もある。広域連合、4町の町長さんともぜひ、一致して「中部へ」という働きかけをしていきたい。



<議案質疑> 平成26年3月4日(火)・5日(水)

<議案第7号 平成26年度倉吉市一般会計予算>

『藤井』 2款1項1目「行政改革懇談会・まちづくり評価会議」について説明を。

「事務改善提案報奨金」で、実際どのようなことが提案・採用されたか。



『総務部長』 行政懇談会：簡素で効率的な市政を推進する目的で設置。まちづくり評議会：限られた資源であるカネ・ヒト・モノ等の活用、外部の視点で事務事業の見直しをするものである。

「事務改善提案報奨金」本年度は18件あった。健康診断の窓口の一本化がにつながった例もある。

『藤井』 外部評価の一環であることが理解できた。外部評価以上に内部評価(事務事業評価等)が大切。事務事業評価の成果指標のまとめもできると聞いている。事業のスピードアップ・作業計画のもとサマーレビュー(10月頃までに予算編成前に業績評価・事業(予算)化)等取り入れて欲しい。

『総務部長』 9月定例会の決算認定の際に実績や評価を加えた決算ベースでの事業シートを配布することとしている。これを元に次年度の財政課や市長の予算ヒアリングに反映していく。

2款1項9目 交通安全対策(企画、定住自立圏)

『藤井』 上北条の小田東地区で「バスアンケートについて」調査されたものがある。「バスの便が悪いので利便性を高めて欲しい」「自家用車に乗れなくなったら、バス利用が必要になる」という回答が多い。市内の公共交通(バス)の利用状況、補助金の額及び内容・使い道についてお伺いする。

『企画部長』 バス利用は、平成17年度中部圏域で158,9000人、平成24年度112,1000人。市の補助金は平成17年度7778万円、平成24年度は1億1135円となっている。

『藤井』 「倉吉市地域公共交通会議」の目的や話し合いの内容などについて説明をお願いする。

『企画部長』 地域公共交通会議について、バスの運賃など改正や例えばNPO有償運送をする場合の料金の事項、市内を走るバス路線の見直しをする場合の方法などを有識者を交えて行っている。

『藤井』 倉吉市の公共交通の利便性向上に向けた今後の取組や考えをお伺いする。

『企画部長』 中部地区のバスのあり方といったことについて、いろいろな意見を聞くことを大切にしてきめ細かく議論・対応をしていきたい。新たな法律・補助金等も活用できるところは活用して、望ましい公共交通のあり方を追求していきたい。



9款1項5目 災害対策、地域防災向上対策

『藤井』 地域防災計画について。倉吉市における防災計画の状況についてお伺いする。

『総務部長』 全国・県の状況を受け、市の防災計画の修正している。現在軽微な修正を行ったり、県の防災計画との整合を図ったりしているところである。

『藤井』 指定避難所と第1次避難所の役割、市の避難所における用具(毛布・食料等)の備蓄状況はどのようなになっているか。

『総務部長』 避難所の条件は、安全かつ迅速に避難と誘導ができること、洪水や土砂災害に対する安全が確保できるかである。保育所・小中学校・公共施設などの民間施設を含めて52カ所を指定避難所としている。第1次避難所は、自主避難者がすぐ避難できる近いところがよいので、地区公民館や児童館など27カ所を指定している。毛布とか飲料水や非常食などは現在、伯耆しあわせの郷と明倫小学校の空き教室、関金庁舎の方に備蓄している。

『藤井』 市からの「防災行政無線」「メール」「電話」「FAX」等情報伝達手段はどのような段階・方法で使うようになっているのか。決まり事があれば教えてほしい。

『総務部長』 適宜防災安全課の方で主に防災行政無線を使って情報を伝えている。緊急時に使うために毎年緊急地震速報やJアラートの伝達訓練もしている。市の防災対策本部との避難所との無線用相互通信ができるシステムもある。

『藤井』 啓発活動・防災訓練などに関しての考えや取組についてお伺いする。

『総務部長』 自治公民館、自主防災組織を単位とした研修や避難訓練を希望に応じて実施している。自助、共助、そして公助としての市の役割もしっかりと果たすよう対応していく。

<議案第33号 倉吉市防災センターの設置及び管理に関する条例の制定について>

『藤井』 第4条「業務」及び第5条「開館時間及び休館日について」。安全・安心で快適なまちづく

りの拠点として防災センターの果たす役割は大きい。第4条に(1)防災に関する意識の高揚及び知識の普及に関することとある。第5条に開館時間が午前8時30分から午後10時までと長時間にわたるが、第4条の業務を果たすための職員体制はどのようになっているのか。

『総務部長』 防災安全課の嘱託職員1名と福祉課の嘱託職員1名の2名の体制で業務を行うこととなる。午後5時以降の貸し館業務がない場合は午後5時以降は閉館することとしている。

一般質問・議案質疑の詳細（藤井たかひろ分）等、3月議会についての情報をホームページに載せていますのでご覧ください。

活動日誌(1月中旬～3月)

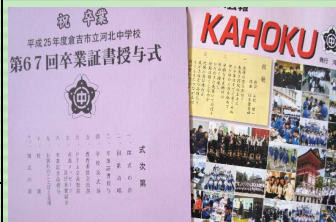
- 1/17 関西広域で考える男女共同参画フォーラム
- 31 議員懇談会 小P連との教育懇談会
- 2/7 旭西自治公役員さんとの懇談会
- 7 議員懇談会
- 9 上井地区役員総会
- 13 議会運営委員会
- 15 上井地区社会福祉大会・教育を考える会
- 21 議員懇談会
- 23 倉吉文芸表彰式
- 24 政治団体研修会
- 25 3月議会（議案上程） 議会運営委員会
- 26・27・28 3月議会（一般質問）
- 3/4 議会運営委員会 3月議会（議案質疑）
- 5 3月議会（議案質疑）
- 6・7・10 3月議会（教育福祉常任委員会）
- 11 河北中学校卒業式
- 12 議会運営委員会 3月議会（討論・採決）
水源地ポンプ室見学
- 13 退公連上井支部総会
- 20 上北条小学校卒業式
- 25・26・27 視察（嬉野市、鹿島市、北九州市）

<ホームページから抜粋しました>



「大賀ハス」用土掘り作業中！？
縄文時代に咲いていた歴史的ハスです。土に埋まっていた池を掘り、植え付けです。左のような美しいハスの花が咲く予定です。2000年の夢を思い浮かべ一生懸命に掘っています。

「地域みんなで子どもを育てよう」というテーマで上井地区住民福祉大会が開催されました。「教育を考える会」も兼ねており、講演会・質疑が進められました。土曜授業等の話題もあり、地区住民にも関心の高いものでした。



移転開校後初の河北中学校卒業式。様々な体験・学びを経て義務教育9年間を終えた145名の卒業生達。君たちの回りにはたくさん応援している人がいる。
「はばたけ、たくましく！！」

視察研修

3月25日(火)から27日(木)の3日間、視察研修に出かけます。主な内容は、議会基本条例について(佐賀県嬉野市)、重要伝統的建造物群をいかした観光の取組について(佐賀県鹿島市)、産業観光の取組について(福岡県北九州市)です。上記以外にも様々なことが学べると思っています。視察研修に関する報告は、「アイズ Vol 3」及びホームページでさせていただきます。

三朝高原から（お勧めスポット）。この地には太陽発電パネルが並んでいます。遠くは蒜山～大山をのぞみ、日本海や北栄町の風力発電機群も観られます。



藤井たかひろ（隆弘）のプロフィール

<経歴>

昭和28年1月	倉吉市余戸谷町生まれ	
昭和51年3月	早稲田大学教育学部卒業、	イトーヨーカドー入社
昭和57年4月	愛知県岡崎市立梅園小学校勤務	
昭和63年4月	三朝町立西小学校勤務	昭和63年4月 倉吉市立社小学校勤務
平成11年4月	倉吉市教育委員会事務局	
平成16年10月	倉吉市立明倫小学校長	平成21年4月 倉吉市立上北条小学校長
平成25年10月	倉吉市議会議員（教育福祉常任委員会副委員長 議会運営委員）	

<地域・PTA活動>

平成13～15年度	倉吉西高PTA副会長	平成16～18年度	倉吉北高PTA生徒指導研究部長
平成7年	上井地区社会教養部長会長	平成25年	上井地区産業土木部長会長

<趣味>

・散歩、写真撮影 ・農作業と園芸作業、DIY ・読書・情報機器の利用（ホームページ、LINE、ネットサーフ等）



編集後記

「アイズ」の2号ができました。議員として、まちの中を歩き現状を知ること、いろいろな意見を聞くこと、現場主義が大切なことを実感しています。知恵を出して少しでも前進できることはやっていきたいと考えます。「アイズ3号」には、視察報告も含めより充実した内容となるよう頑張ります。「くらしよし倉吉」の発展のため精一杯努力して参りますので、さらなるご指導ご支援よろしく願いたします。

